

在宅取組型(小学校)

| | |
|----------|--|
| 学校名等 | 美濃加茂市立三和小学校 |
| 実施日時 | I:夏季休業中 II:1月末(3学期) |
| 会場 | 各家庭(取組)及び学校(取材・交流) |
| 参加人数 | 全家庭 |
| 学習課題(分野) | 「ICTで話そう語ろうデー I・II」(家族の大切さ・思いやり・社会のルール) |
| 運営者の願い | コロナ禍でわが子の学校での様子を知る機会、ここ数年、かなり減っている。「子ども達の頑張りを家庭でもっと認めてあげることができないだろうか。」という願いから、日ごろの学習の中で情報機器を先進的に活用している本校ならではの取組を考え、実施する。 |

学習の内容

<取組方法>

| | |
|---|---|
| <p>「ICTで話そう語ろうデー I」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校でのがんばりを、子ども達や先生がタブレットを使い画像や動画で撮影し、保存する。 ○保存された画像や動画から子ども達が各自、親に見せたい(知らせたい)ものを選ぶ。 ○一学期末に家庭にタブレットを持ち帰り、子どもが画像や動画を保護者に見せながら学校で頑張っていることを伝える。 ○学校での頑張りに対して、保護者がカードにメッセージを書く。子どもから保護者に対しての返事をカードに書く。 | <p>「ICTで話そう語ろうデー II」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○週末にタブレットを子どもが持ち帰る。 ○家族や家のことで、友達に紹介したいことを保護者と相談しながら、タブレットに画像や動画で撮影する。 ○学校で短学活等の時間を利用し、撮影した画像や動画をもとにしながら、自分のことを友達に紹介する。 ○友達から感想をもらう。 ○学校で知った友達のことを保護者に伝える。 |
|---|---|

<取組の様子>

保護者から 子どもへのメッセージ

1,2年生に一輪車を教えていて
すごいね。これからも、より上手になれる
ように、みんなと協力し合っていてね。
英語の授業、はじめて見たけれど、
がんばっているね。ほすかしがらずに、
自信を持って話してね。
他の授業や活動も、みんなと一緒に楽し
とりにくめているね。これからも、みんなと
仲良くとりこんでいてね。母より。



「これが、ぼくの家族です。少し前に妹が生まれました。名前は、〇〇です。今週は、お母さんと一緒にカレーライスやソフト麺のミートソースを作りました。」

子どもから 家族へのメッセージ

見てくれてありがとう
1,2年生に一人車を
教えていてぜんぜんせ
いこうしてないけど
がんばりず。ほすかしがらずに
自信をもってほすき言もしま
それで、すごいねとメッセージを書
くれてありがとう。

<メッセージより>

<父・母から子ども達へ>

- ・音読の発表会、みんな上手にできたね。
- ・いつもどんなふうに勉強しているか、よくわかったよ。
- ・普段見られないところも見ることができてうれしかった。
- ・**※子ども達の様子を見たり聞いたりして、わが子の頑張りに安堵した保護者がたくさんおられた。**

<子ども達から父・母へ>

- ・写真を一緒に見てくれてありがとう。そしてメッセージをありがとう。
- ・久々に、たくさん話せて楽しかったよ。
- ・ほめてくれてありがとう。また、頑張ります。
- ・**※学校での頑張りを認め励ましてもらったことのおうれしさや、これからの決意を書いている子がほとんどであった。**

三和小学校は、学校の特色ある教育活動の一つに「情報機器を有効活用した学び」を位置づけている。市内の他校より、数年早く一人一台タブレットが貸与されており、子ども達の扱いも巧みになってきている。本取組は、このような特色を保護者がよく理解し、うまく家庭教育学級に位置づけた実践例である。日頃から学校と家庭とが連携し子ども達を育てているということが伝わってくる。



校区の実態(広域のため帰宅後や休日、友達と遊ぶ時間がもちにくい)を鑑み、取組 I から取組 II につなぐ実践が興味深い。

I は、親子間での会話や認め励ましが多く、取組 II は、子どもの友達を知るよい機会となったようである。タブレットという情報機器を親子のふれあいをつくる一つの道具として活用している。関わる中で、「情報機器の扱い」等の注意も、話題にできたであろう。

